2021 年 8 月 30 日

各　位

会　社　名　プレシジョン・システム・サイエンス株式会社
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　田島 秀二
（コード番号：7707　東証マザーズ）
問合せ先　取 締 役 総 務 部 長　田中 英樹
（TEL 047-303-4800　http://www.pss.co.jp/）

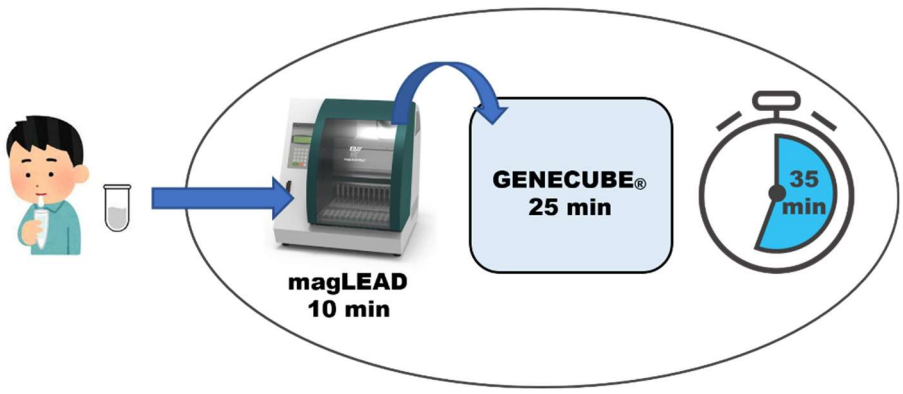
新型コロナウイルスに対する迅速核酸抽出用プロトコールICカードを8月30日より販売開始

プレシジョン・システム・サイエンス株式会社（以下 PSS、本社：千葉県松戸市）は、日本国内での新型コロナウイルス感染防止に向け、全自動核酸抽出装置専用プロトコール IC カード「MagDEA Dx SV 200 for GENECUBE R 12gC」※1※2（以下、本製品）を 8 月 30 日より販売開始致します。

本製品は、東洋紡株式会社が販売する全自動遺伝子解析装置「GENECUBE®※5」に対する検体処理として、鼻咽頭拭い液、唾液検体から従来法の約 1/3 の動作時間（約 10 分）で、従来法と同等の効率の全自動核酸抽出を行うことが可能です※3※4。

本製品と「GENECUBE®」を組み合わせることで、従来、検体の前処理や抽出工程に時間を要していた唾液検体を用いた場合でも、検体から約 35 分で結果報告が可能となります。

PSS は引き続き、世界に先駆けた核酸(遺伝子)抽出技術の開発に取り組んでまいります。



※1　本製品は、PSS が提供する全自動核酸抽出装置「magLEAD 12gC※1」専用のプロトコール IC カードとして、現在販売中の「MagDEA Dx SV 200 12gC for GENECUBE」（以下、従来法）を基に開発されました。

※2　「magLEAD 12gC」は最大 12 検体を同時処理可能です。最大 6 検体を同時処理可能な「magLEAD 6gC」専用のプロトコール IC カードは、9 月中旬発売予定です。本製品又は magLEAD 6gC 専用のプロトコール IC カードを使用する際は、専用のアダプターである GENECUBE consumable rack Adapter-12gC、GENECUBE consumable rack-6gC が必要となります。

※3　本製品は、筑波大学　医学医療系　感染症内科学 鈴木広道 教授が発案し、同教授の指導の下で開発されました。

※4　本製品により得られた核酸溶液は、GENECUBE®、GENECUBE®（モデル C）にて評価しております。

※5　「GENECUBE®」は東洋紡社の登録商標です。

以　上